

(株) 中曽根造園 2020年 新年

旧年中は格別のご厚情を賜わり厚く御礼申し上げます。
本年も相変わらずご厚誼の程偏にお願い申し上げます。



子年：「ネズミの好物はチーズではなかった!？」

ネズミは果物や穀類を好むそうで、かなりの空腹にならないとチーズは食べないそうです。昔からネズミは巣作りのためにチーズをかじっていたのですが、その被害の数が多いことから、間違っただと勘違いされたと考えられます。

※冬季長期休暇のご案内※ 2019年12月29日～2020年1月5日

1月の誕生花



1月15日 ツバキ白花助 わびすけ



「控えめ、静かな趣き」

小ぶりで白色、一重の花を猪口咲きに咲かせます。ほのかな香りがあり、11～3月頃まで咲き続けます。200年以上も前から知られる古い品種で、その厳かな姿から、茶室にも人気のあるお花です。



1月8日 ヤブコウジ

「明日の幸福」

昔から、正月の縁起の良い木とされてきました。樹高も高くなく、横に広がるのでグランドカバーにも使われます。



1月25日 プリムラ・マラコイデス

「素朴・気取らない愛」

1月から花が咲き始め、春頃まで長く花を楽しむことができます。葉や茎に白い粉が付くため「ケショウザクラ」とも呼ばれています。



1月13日 マホニア チャリティ

「良い家族、愛は増すばかり」

ヒラキナンテンの仲間で、樹高は1～3m。30cm程の花穂に黄色の小花を付けます。葉と花穂が上向きに伸びるので、華やかな雰囲気があります。



みどりの豆知識

マツの“腹巻き” コモ巻

秋頃から、公園などの松の幹にワラが巻かれている「菰(コモ)巻」。松の葉を食べるマツカレハノ幼虫のマツケムシを駆除するものです。根や落葉の下などに隠れて越冬するマツケムシを温かいコモの中に誘い出し、春に外してコモと一緒に処分します。

ただし、虫を食べてくれる益虫であるクモやヤニサシガメなども一緒に駆除してしまうというマイナス面もあり、京都御苑や皇居外苑、最近では姫路城の松はコモ巻をしないでいるそうです。もしかすると江戸時代から続くコモ巻は見られる機会が少しずつ減っていくかもしれません。



マツケムシ



みどりでクイズ

見た目が似ている縁起物名前当てクイズ



① 葉の下に垂れ下がった実



② 葉は長細く、凛とした立ち姿



③ 10 cm程で、実の数は少ない

クイズのヒント

ヤブコウジ、ナンテン、
マンリョウ、センリョウ、
カラタチバナ



④ 先端に上向きで実が付く



⑤ まとまって実を付ける

* クイズの答えは下記にあります↓

おすすめ情報

今の時期こそやっておきたい『冬期防除』のご紹介。

『冬に殺虫剤?』と思われるかもしれませんが、病害虫が越冬しており、樹木の休眠期であるこの時期だからこそ散布できる薬剤があるのです。

それは、『石灰硫黄合剤』 又は 『マシン油乳剤』 です。

例えば、吸汁害虫のカイガラムシ。

体が硬い殻で覆われているため、一般的な殺虫剤では駆除できず更にすす病も誘発するやっかいな害虫です。

しかし、これらの薬剤は 越冬中のカイガラムシを駆除することが可能なのです。

また、石灰硫黄合剤に関しては、害虫や菌が薬剤に対しての耐性をつけることがないので、毎年使用しても効果が衰えません。(薬剤には色と臭いがあります。)

なお、気温が高くなり、日照時間も長くなると樹木を痛めることがあるため、

使用は冬期限定です。春からの病害虫の発生に差が出ます。是非一度お試しください。



カイガラムシ

冬期防除

作業期間：1月から3月

50ℓ未満：¥5,000 (税別) 50ℓ以上は¥100/ℓ あたり

※一般の住宅での散布量は50ℓ~200ℓ程度です。

●うどんこ病・さび病・赤星病など

しつこい病気の予防になります!

●すす病の原因となるカイガラムシの駆除、

ハダニやその他の越冬害虫を駆除します!



うどんこ病



ハダニ



ルビローウ カイガラムシ



すす病

画像はインターネットより引用させていただいております。